

金城学院大学 薬学部 薬学科

永津 明人 教授

「人と化学の関わりは興味深い」とおっしゃる永津先生。
講義では自然界の多様な生物・現象をまず観察すること、
その成分や作用と人の体との関わりを教えてくださいました。
また学生たちにはこれらの学びを通して
「患者さんのよき相談相手になれる
コミュニケーション能力の高い薬剤師になってほしい」と
願っていらっしゃいます。



自然界の多様性や大きさを知り
深く観察できる人になってほしい

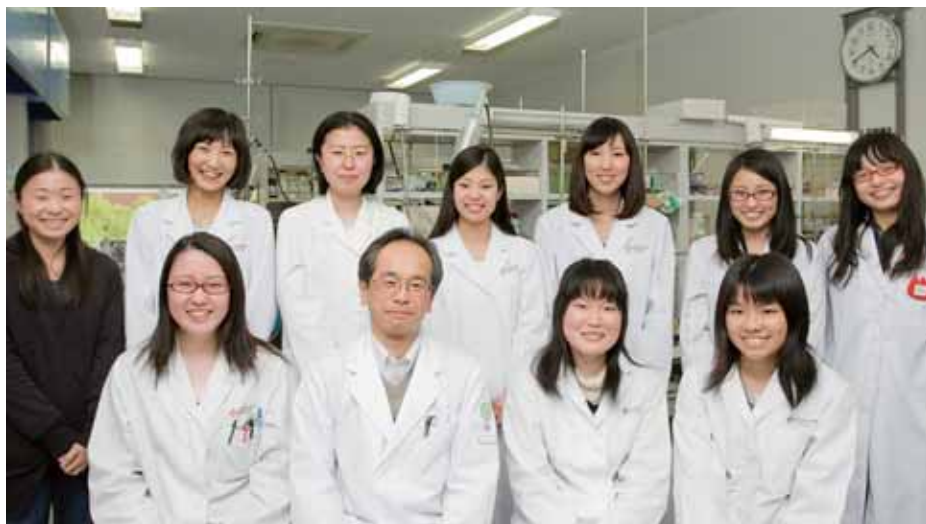
永津明人教授／名古屋市立大学大学院薬学研究科博士後期課程修了、薬学博士。日本薬学会、日本化学会、日本生薬学会、アメリカ生薬学会、日本薬剤師会ほか所属。1996年に日本薬学会東海支部学術奨励賞を受賞。

人と化学との関わりについて 学びたいと思い薬学の道へ

幼い頃から虫を育てたり自然について調べたり、とにかく理科が好きでした。高校時代に化学と出会い、人の体内で起こることと化学との関係について興味を持ち、薬学部に進学しました。薬という化学物質が、体内に入ってどのように作用し、どのように反応するのかということに勉強したかったです。それと同時に私は昔から、自分がおもしろいと感じることを人に伝えることができたらと考えていました。ちょうど大学院修了後に勤務していた研究所にいた時、恩師に声をかけていただいたことが、大学の教員になるきっかけとなりました。

金城学院大学は歴史と伝統があり、キリスト教の教えに基づく女子教育に特化していることから、「きっと将来何か大きなことをしてくれそうな可能性を秘めた学生が多くいるだろう」という期待感がありました。実際、卒業生の中にも社会に出てからさらにステップアップをめざして勉強している人もいます。教員として、こうしたすばらしい学生たちを教えられることをとてもうれしく思っています。

現在は薬学部で「生薬学」と「天然物化学」を教えながら、生物活性植物成分の単離・構造決定などをテーマに研究をしています。研究を通し、あらためて自然界の大きさを再認識しています。



実際に見て触れることで 成分の作用や効能を実感

「生薬学」は漢方薬や天然医薬品のもととなる生薬について学ぶ分野です。漢方薬や生薬の特性、またその生薬のもととして自然界に存在する植物や動物にどのような成分や効能があるのかなどを教えます。授業ではまず学生に生薬の実物を見せて、実際に触ったり、においを嗅いだりしてもらいます。もちろん、食べられるものは少しかじってもらったりもします。学生たちはにおいに顔をしかめたり、「苦い!」「甘い!」とはしゃいだり。少し授業は騒がしくなりますが、生薬に興味を持ってもらうには実際に見て触れることが一番だと思います。生薬のもととなるものの中にはミミズや蟬の抜け殻などもあり、学生たちは「こんなのが薬になっているなんて」とびっくりすることも。また「薬学セミナー」では一緒に薬草園で植物を観察しながら効能や成分、特徴などを考えます。それぞれの生薬のもととなるものを観察して知った上で、生薬の特徴や効能、成分を勉強できることが一番いいことです。学生たちにとって、それを実践しつつ学べる環境にあるのは大変幸せなことだと思います。

「天然物化学」では自然の動植物に含まれる成分の化学構造や作用について教えています。例えば槐花^{カイカ}というマメ科の植物由来の生薬からは止血作用のあるルチンという成分が抽出

されます。学生たちはこれを確認する実験を行いつつ、動植物に含まれる多くの成分についてその未知なる作用や効能を学ぶのです。

人が作る合成薬の構造にはパターンがありますが、自然界の生薬のもととなる資源の構造には実に多様性があります。その多様性を理解しながら、決まった考え方をするのではなく、あらゆる角度から観察し、考えていける人になってほしいと思っています。

臨機応変に対応できる 時代が求める薬剤師に

薬剤師もまた、さまざまな患者さんに臨機応変に対応するということが大切です。西洋医学は病気の原因を突き止めて治療するということが基本ですが、漢方ではまず患者さんの状態を観察し、そこから個々に異なる病状を探っていくことが基本になります。そこには患者さんとのコミュニケーションも重要になってくることでしょう。「生薬学」や「天然物化学」の授業を通して学んだ「よく観察してそれをもとに考える」ということを実践し、さらに患者さんのよき相談相手になれるようなコミュニケーション能力の高い薬剤師になってくれることを願っています。

それと同時に、やはり自然界の資源の豊かさや、大きな自然の中に私たちが生かされていることを十分に理解し、「薬がすべての病気を治せる」という驕った考えを持たない人になってほしいとも思います。物事を小さくとらえず、一度大きな視野で見た上でじっくりと観察し、今自分が持てる知識や技術で最善を尽くす。そんな薬剤師になり、これからの医療業界を支えていく人になってほしいと思います。

永津先生はどんな人!?

永津研究室の5・6年生の皆さんに永津先生について尋ねました。「自主性を大切にしてくれる」「授業がわかりやすい」とのお話の一方、「みんなで食事をしている時は楽しい話してくれる」「新幹線や中日ドラゴンズが好きでその話で盛り上がる」などの声も。飾らないお人柄で学生との仲の良さが伺えました。